

2017/10/23

平成 29 年度 茨城統一テスト

採点規準詳細

3 年 第 4 回

◇今回のテストについて採点規準の詳細を示しています。

進学研究会

■国語

◇記述問題の誤字は減点。

◇漢字採点規準…最後にあります。

一 (三)

- ・同趣旨○。
- ・40字以上45字以内であること。
- ・誤字減点。いくつあっても×にしない。
- ・二文以上で書いているもの可。
- ・「…から」文末×。

【模範解答例】

カバーを付けたままでは、本を出し入れする度に傷付く可能性が十分あるのでおそれる気持ち。

○の例

○_A本のカバー自体も大切なので、そのままつけておいたら扱うとき必ず汚れることが許せない気持ち。

○_Bそのままにしていたら、切れたり、折れたりすることが予想されるのでそれを避けたい。

○_C本のカバーや帯が、折れていたり切れていたりするところを見ると、たまらなく悲しい気持ち

○_D読んでいるうちに、カバーが折れたり、帯が切れるのを防ぎ、きれいな状態を保ちたい気持ち。

×の例

×_Aカバーを付けたままではとても危険で出し入れのたびに本はかすり傷を負い、重傷化するのが嫌だ

→着目点としては正しいが、「かすり傷を負い、重傷化」など比喩のまま書いているものは×。

×_Bできるだけ直接本に触れられる状態にしておきたいので、カバーが付いていると気分が悪い気持ち。

→P1・9行目に出てくる「カバー」を指しているが、これは設問中の「カバー」とは異なる。

×_Cある程度年月がたちカバーが折れたり、帯が切れていると元に戻せないから寂しい気持ちになる。

→書店に並んで時間が経った本について書いているものは×。

二 (四)

- ・同趣旨○。
- ・35字以上40字以内であること。
- ・誤字減点。いくつあっても×にしない。
- ・二文以上で書かれているもの可。

- ・「～から。」・「～ため。」など理由を示す文末が理想だが、他文末でも○の可能性あり。
- ・「漱石」・「手紙」・「証拠」という三語が用いられていること。順序不問。

【模範解答例】

漱石が当惑した旨を伝えた手紙が存在し、手紙は信用すべき証拠とっていいから。

○の例

- _A手紙は証拠になるもので、漱石の手紙の中に教室の片手事件で困ったとあるから。
- _B漱石自身が手紙の中で当惑の気持ちを書いているのが、何よりの証拠になるから。
- _C漱石が学生に言ったことが手紙などの存在する信用すべき証拠と一致したから。
→「当惑」などの表記がなくても、「漱石自身が言ったこと」ということがわかるため。

×の例

- ×_A教室で出会った片手のない学生の出来事が書いてある漱石の手紙は証拠になるから。(38字)
→前半は漱石自身の当惑を言っているかどうかわからないのに、「漱石の手紙は証拠になる」という流れは×。
→手紙の内容に触れている前半部分が×対象。教室に片手のない学生がいたという事実だけでは、挿話の内容の当事者が漱石とは限らない。「～片手のない学生とのやりとり～」のようになっ
ていれば「当惑」などの心情語がなくても可。
- ×_B漱石によって書かれた片手事件についての手紙という信用できる証拠があったから。
→「当惑」など漱石の心情がないため、内容が不十分。

作文採点基準

① 字数

- ① 8行目 20マス目未満 (159字～101字のもの) ……－2点
- ② 5行以下 (100字～61字のもの)、字数オーバー ……－5点
- ③ 3行以下 (60字以下のもの) ……－10点 ⇒ 採点終了
- ④ 最終行未完成 (尻切れトンボのもの) ……書かれた字数に関係なく、尻切れは－1点。

② 条件・内容 (A→Cの順番で判断する)

A. 条件不備

- ① テーマ違反 (全くテーマから外れているもの) ……－10点 ⇒ 採点終了
 - ・「食品の安全」というテーマの作文であること。「食品・食事」等、食に関して述べていると判断できれば、とりあえずテーマ違反とはしない。
- ② 本文引用 (半分程度以上) ……－10点 ⇒ 採点終了
 - ※ 約50%以上の引用であれば－10点する。
 - ※ 本文中からの部分的な引用はよいが、本文からの丸写しではいけない。
 - ※ 自分の考えや感想などを、本文の内容を写して、いかにも自分のもののように書いてあるものは、写しの部分が半分程度以下なら許容とする。

B. 加点条件（「テーマ違反」ではない作文は必ず一つ以上の項目で加点する）

① 加点項目 1（指定された条件をすべて守っているもの）…… 4 点

(1) 二段落で書いているもの

- ・ 一段落や、三段落以上で書いたものは加点しない。
- ・ 一字分下がっていても、その前の行の途中で改行してあれば二段落目とみなす。ただしその場合は **3** (2) の「原稿用紙一字下げ違反」とみなして、1 点減点する。（※「作文採点に関する注意事項」の No. 7 ページの **9** 「段落の数え方」を参照する。）

(2) 前段に「体験・見聞」、後段に「考え」を書いているもの。

- ・ この項目では形式として段落の役割を果たしていればよい。（内容は②③で判断。）
- ・ 内容が不可の場合でも、形式として段落の役割を果たそうとしていればよい。よって明らかに前段・後段の内容が逆転している場合や、作文全体が「体験・見聞」または「考え」のみになっているような極端な例以外は可。

(3) 「体験・見聞」と自分の「考え」を関連させて書いているもの、テーマに沿って書いているもの。

- ・ テーマおよび前段で述べた「体験・見聞」と矛盾したり、全く関係のない内容の「考え」を後段で述べているものは加点しない。
- ・ 「食」について述べていても、食の「安全性」への視点が全く無いものは加点しない。
- ・ 「食品の安全に関して何ができるか(どのように危険を減らすか)」という方向で述べること。ただし、自分なりにできること（消費者の立場でできること）を述べていけば可。
- ・ 「食品の安全」を否定するものは不可。
- ・ 「異物混入」のように、消費者側が防ぐことのできないことを取り上げたものは加点しない。
- ・ 資料から読み取れることを挙げる必要はない。また考えを述べるにあたり、参考にしていてもいなくても可。

● (1)～(3)をすべて満たすもののみ加点する。

② 加点項目 2（「体験・見聞」を書いているもの）…… 3 点

- ・ 後段で述べる、テーマに関する自分の「考え」の裏付けとなるような「体験・見聞」を述べていけばよい。
- ・ 自分や周りの、普段の食生活や食に関する習慣等でも可。
- ・ 「具体的な体験・見聞」が無く、ただ単に自分の考えや感想だけでまとめているものは加点しない。

③ 加点項目 3（「考え」を書いているもの）…… 3 点

- ・ 「食品の安全」について自分なりにどう考えるか、前段で述べた「体験・見聞」を踏まえて意見を述べること。
- ・ 「食品の安全」についての意見であれば、内容は問わない。
- ・ 「食品の安全」についての単なる事例の紹介や感想だけのものは加点しない。

★ ①～③の条件が満たされていれば、とりあえず項目ごとに加点する。そこから「内容不備」の項目に当てはまる場合は減点（－2）する。

C. 内容不備（加点した項目が一つの場合は使用しない。①②は加点していない項目には使用不可。）

① 物足りない体験・見聞

- ・ 「体験・見聞」があるにはあるが、一言だけで具体性のないもの、内容が表面的で浅いもの、全体的に漠然としたもの等。

② 物足りない考え

- ・「考え」の裏付けとなる背景が不明確なもの、具体性や説得力に欠けるもの。
- ・主観的な肯定・批判に偏り、客観的根拠を示していないもの。
- ・ひとことだけで根拠に欠けるもの等、内容が表面的で浅いもの。

③ ややずれた体験・考え

- ・求められた内容以外のむだな部分が多く、全体に中心点の外れた感がある等、全体の構成にやや難を感じるもの。
- ・前段と後段の分量的なバランスが悪いもの、前段と後段のどちらの内容もあいまいで、やや不十分なもの。
- ・「体験・見聞」と「考え」のつながりが薄いもの。

★ 内容不備の減点上限は－２点。したがって①～③の複数の項目で減点しても、１回（－２点）の減点となる。

■数学

- 2(4) $-3a+1000$ 円 など○
 3(1) $\angle ADC=103^\circ$ など○
 3(3) 0.35, 35%, 3割5分, $p=20$ 分の7 など○
 4(2) ($x=2, y=8$) も○
 5(1) ア BA も○
 5(1) イ $\angle FAD, \angle EAD, \angle CAD$ など○

■英語

- 1(4)① 百十五 ○, 英単語は×
 2(2)④ listened ○
 2(2)⑥ 1st ×
 4(2) will → do, can ○
 go → get, visit, reach, arrive ○

6

☆各5点満点。

☆指定語の脱落は×。

☆減点法：文頭の小文字書き出し・符号の誤用等は1か所に限り減点(－2点)。2か所以上あるものは×。

☆その他具体例

6(1)

- bought → got, purchased ○
 it → this, that ○

■社会

◇漢字指定のないものはひらがな書き○

◇漢字・字数指定のあるものは、指定外×

1(4)

◇ASEANは日本より「貿易総額が多い」「一人当たり国内総生産が少ない」の両方が読み取れれば○とした。

2(3)

◇記号が「ア」以外のものは×。また、「老人」「子ども」の語がないものも×。

◇日本は「老人が多く子どもが少ない」ことが読み取れれば○とした。

◇「老人が子どもより多い」といった書き方でも○とした。

3(3)

◇記号が「C」以外のものは×。また、「重量」「価格」の語がないものも×。

◇「重量が軽い」「価格が高い」の両方が読み取れれば○とした。

4(4)目的

◇「一揆」「農業」の語がないものは×。

◇「一揆を防いで農業をさせるため」が読み取れれば○とした。

■理科

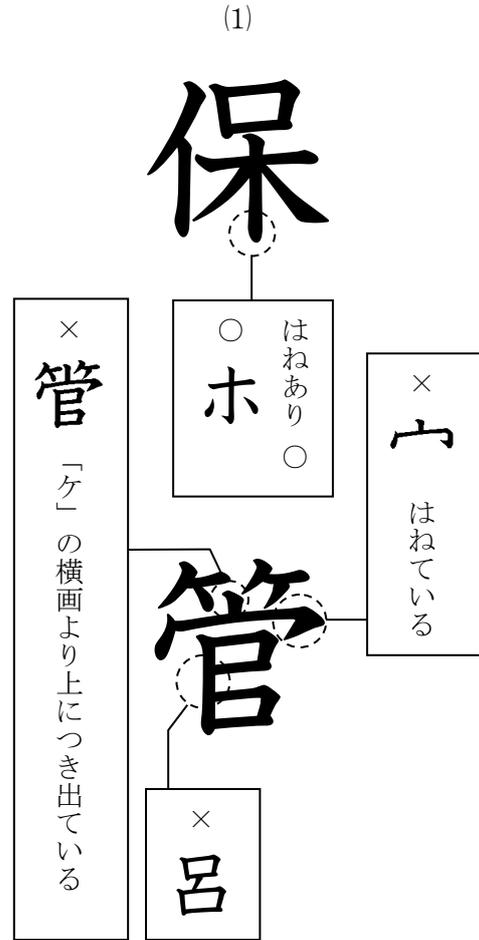
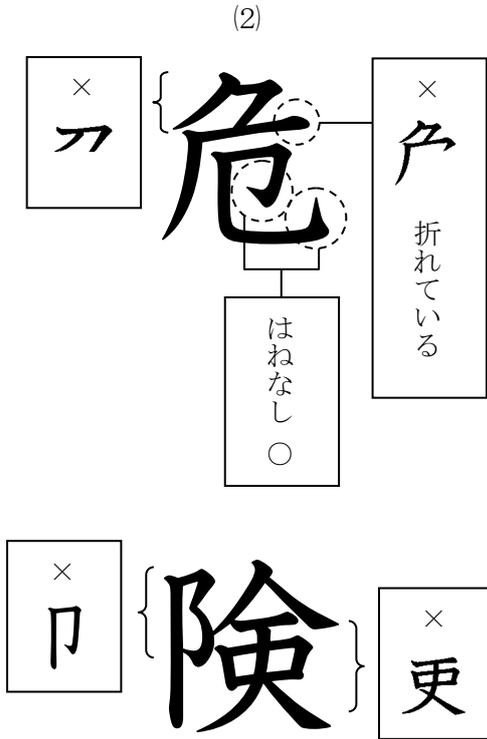
◇漢字指定のないものはひらがな書き○

2(2) 標準 ○

3(2)い 完全優性 ○

5(1) 指定語「移動性」,「通過」の両方を用いて,春や秋の天気が周期的に変わる理由「低気圧と移動性の高気圧が,交互に日本列島を通過する」ことが読み取れれば○とした。

6(3) 原点を通り,小球の質量25gのとき移動距離10cmとなる点を通る比例のグラフが,実線でかかれていれば○とした。



「口」3画になっ
ていれば○
※判別可能なもの
のみ

正	□
○	◻
○	◻
×	◻
×	◻

